

UNC-RP41(A)  
UNC-RP42(A)  
設定手順書

NKE 株式会社

作成日	2023/04/07
更新日	2023/04/25

# 目次

STEP1. 設定ソフトのダウンロード	1
STEP2. 設定（れんら君サーチソフトの使い方）	2
STEP3. 設定（SMTP サーバー）	3～4
STEP4. 設定（POP3）	5
STEP5. テストメール	6
STEP6. 入力設定	7～9
STEP7. 設定（メール）	10
STEP8. 出力設定	11
STEP9. 設定反映	11
補足． 初期化（工場出荷時状態）	12

# STEP1 事前準備 設定ソフトをダウンロードする

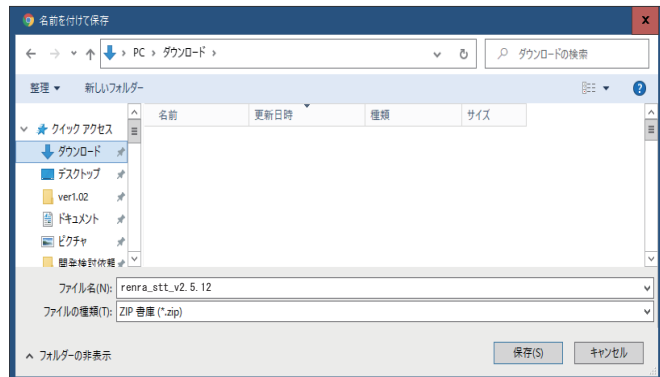
## 1-1

弊社ホームページにアクセスし、「製品案内」を開き、「ネットワーク機器」をクリックしてください。  
([https://www.nke.co.jp/product/#section\\_network](https://www.nke.co.jp/product/#section_network))  
「■アナログ入力タイプ (温度センサや光センサ等のアナログセンサーを接続する場合)」の「出力無し」の「UNC-RP41(A)」もしくは「UNC-RP42(A)」をクリックしてください。  
項目が展開されますので「れんら君サーチソフト (最新版 簡易設定バージョン)」をクリックしてください。



## 1-2

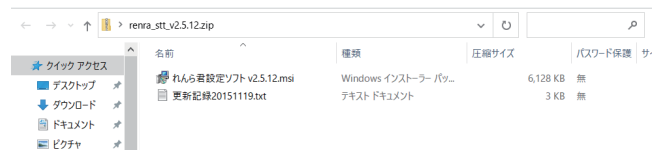
れんら君サーチソフトの圧縮ファイル「renra\_stt\_v2.5.12.zip」のダウンロードが始まりますので、わかりやすいフォルダに保存してください。  
(右図ではダウンロードフォルダ)



## 1-3

ダウンロードした「renra\_stt\_v2.5.12.zip」を解凍ソフトでフォルダに解凍してください。  
解凍されたフォルダを展開すると右側図のように2つのファイルが表示されます。

「れんら君設定ソフト v2.5.12.msi」を立ち上げてください。



## 1-4

れんら君電源を入れます。



# STEP2 設定（れんら君サーチソフトの使い方）

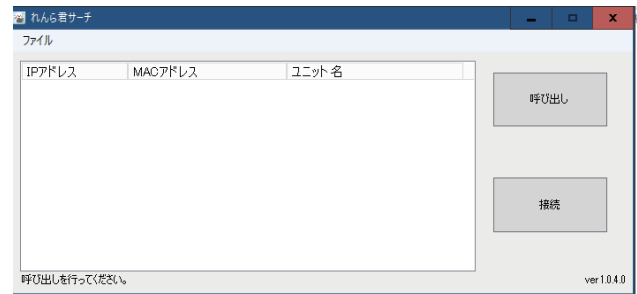
## 2-1

### れんら君サーチソフトの起動

1-3で解凍した「renrakun\_search.exe」をダブルクリックすると「れんら君サーチ」ウィンドウが開きます。

ウィンドウ右側にある「呼び出し」ボタンをクリックします。ウィンドウ下側に緑色のメーターが表示されますので、完了するまで待機してください。

呼び出しにより、ネットワーク内に接続されている全てのれんら君が一覧表示されます。

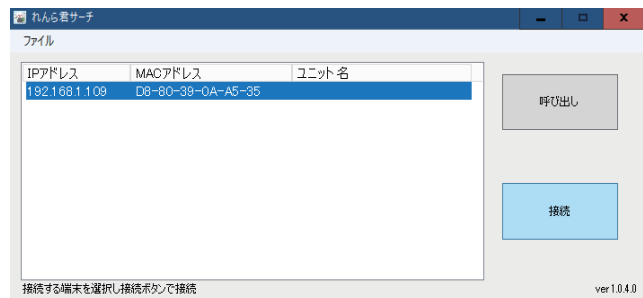


## 2-2

### 検出した IP アドレス

（れんら君が占有している IP アドレス）をクリックし、青色の選択状態にしたあとに、ウィンドウの右下にある「接続」ボタンをクリックしてください。

※れんら君が複数台数検出された場合は、MAC アドレスで区別してください。

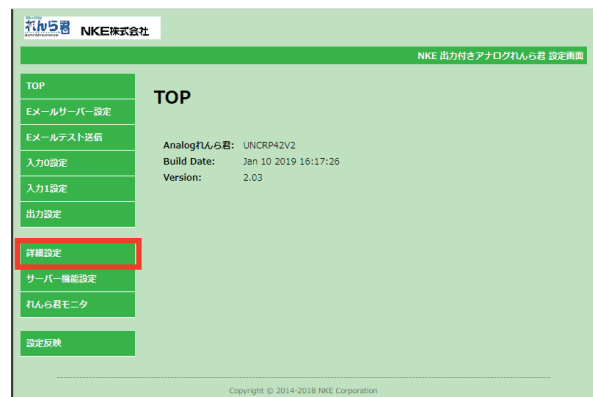


## 2-3

常用されているブラウザに設定画面が表示されます。

IP アドレスを **DHCP** で設定されている方はそのまま STEP3 にお進みください。

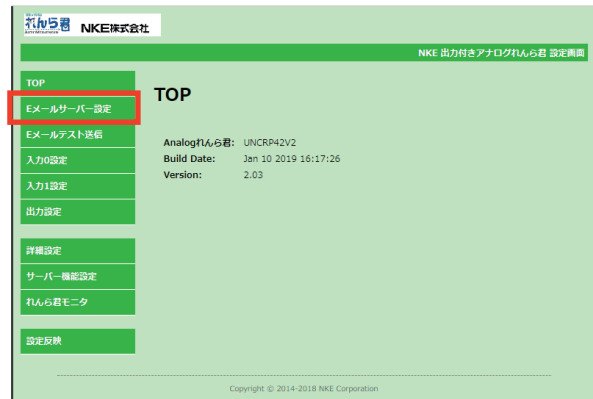
**固定 IP アドレス** で設定される方は詳細設定よりネットワークの設定を完了させてください。



# STEP3 設定 (SMTP サーバー)

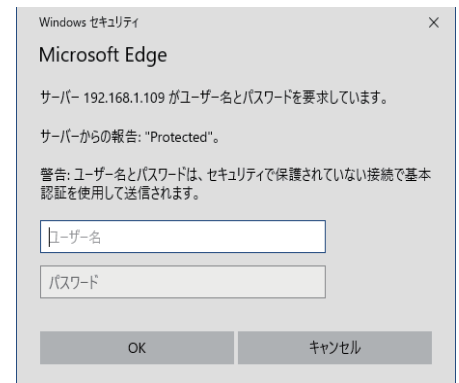
## 3-1

設定画面左側にあるメニュー内の「Eメールサーバー設定」をクリックします。



## 3-2

ユーザー名とパスワードを要求するウィンドウが開きます。(右図はブラウザが Microsoft Edge の例)  
【ユーザー名】に「root」  
【パスワード】に「root」  
を入力し「OK」をクリックします。

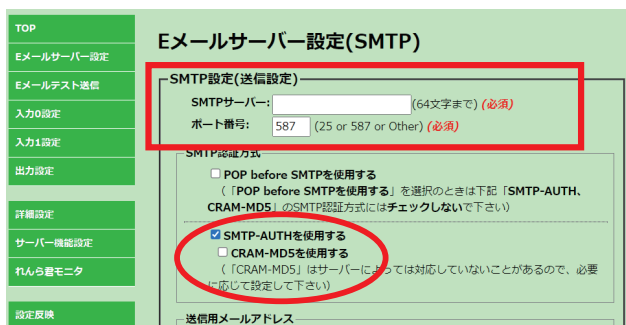


## 3-3

SMTP 設定 (送信設定) の画面が開きますので、【SMTP サーバー】と【ポート番号】を入力します。

■れんら君専用メールアカウントでの例  
【SMTP サーバー】 : smtp.nke-renrakun.net  
【SMTP ポート番号】 : 587  
【SMTP 認証タイプ】 : SMTP-AUTH を使用する

※【SMTP サーバー】、【SMTP ポート番号】、【SMTP 認証タイプ】は、使用する Eメールサーバーによって異なりますので、予めご確認ください。



## STEP3 設定 (SMTP サーバー)

### 3-4

送信用メールアドレスを設定します。

- 【メールアドレス】 : れんら君に割当てたメールアドレス
- 【ユーザー名】 : メールアドレスのユーザー名
- 【パスワード】 : メールアドレスのパスワード
- 【送信リトライ間隔】 : 送信エラーの時に  
再送信するまでの時間
- 【送信リトライ回数】 : 再送信する回数

送信用メールアドレス

メールアドレス:	sample01jxtm@nke-renrakun.net (40文字まで) (必須)
ユーザー名:	nke-renrakun.sample01 (40文字まで) (必須)
パスワード:	..... (40文字まで) (必須)

送信リトライ間隔: 60 秒 (0~3600)

送信リトライ回数: 5 回 (-1~16 (-1:無限回))

入力完了したら「set」をクリックしてください。

### 3-5

参考：れんら君専用メールアカウントを使った例

- 【SMTP サーバー】 : smtp.nke-renrakun.net
- 【ポート番号】 : 587
- 【SMTP 認証方式】 :  SMTP-AUTH を使用する  
のみにチェックを入れます。

#### Eメールサーバー設定(SMTP)

SMTP設定(送信設定)

SMTPサーバー:	smtp.nke-renrakun.net (64文字まで) (必須)
ポート番号:	587 (25 or 587 or Other) (必須)

SMTP認証方式

- POP before SMTPを使用する  
(「POP before SMTPを使用する」を選択のときは下記「SMTP-AUTH、CRAM-MD5」のSMTP認証方式にはチェックしないで下さい)
- SMTP-AUTHを使用する
- CRAM-MD5を使用する  
(「CRAM-MD5」はサーバーによっては対応していないことがあるので、必要に応じて設定して下さい)

# STEP4 設定 (POP3 サーバー)

## 4-1

POP3 サーバーを設定します。  
画面下側にある「E メールサーバー設定 (POP3)」と書かれた文字をクリックします。

送信リトライ間隔: 60 秒 (0~3600)  
送信リトライ回数: 5 回 (-1~16 (-1:無限回))

設定の登録  
set

※ここでのset動作ではEメールの再設定処理を行いますので、少し時間がかかることがあります。動作が終わるまでは、他の動作を行わないようにしてください

**Eメールサーバー設定(POP3)**  
POP before SMTP。またはコマンドメールを使用する場合は、Eメールサーバー設定 (POP3)をしてください

## 4-2

E メールサーバー設定 (POP3) の画面で  
【POP3 サーバー】と【ポート番号】を入力します。

■れんら君専用メールアカウントでの例  
【POP3 サーバー】 : pop.nke-renrakun.net  
【POP3 ポート番号】 : 110  
【POP3 認証タイプ】 : Auth-Login を使用する

※【POP3 サーバー】、【POP3 ポート番号】、  
【POP3 認証方式】は、使用する E メールサーバー  
によって異なりますので、予めご確認ください。

POP3設定(受信設定)

POP3サーバー: pop.nke-renrakun.net (64文字まで)  
ポート番号: 110 (110 or Other)

POP3認証方式

Auth-Loginを使用する  
 APOPを使用する

## 4-3

受信用メールアドレスを設定します。

※送信用アドレスと設定が同じであれば、  
✓送信用メールアドレスと同じものを使用する  
にチェックを入れてください。

【接続間隔】：  
れんら君が受信メールを受信する間隔。  
メール受信を行わない場合は「0」を入力  
※5分以上の設定が標準です。

【POP3 の異常復旧待機間隔】：  
通信異常でエラーが出た際、通信状態の自動確認を  
行う間隔。この自動確認で通信回復が確認されると  
れんら君のエラー状態は解除されます。

完了したら 「set」 をクリックしてください。

受信用メールアドレス

送信用メールアドレスと同じものを使用する

メールアドレス: sample0003xwms@nke-renrak (40文字まで)  
ユーザー名: nke-renrakun.sample0 (40文字まで)  
パスワード: ..... (40文字まで)

接続間隔: 0 分(0~65500 (0:接続しない))  
POP3の異常復旧待機間隔: 5 分(0~65500 (0:復旧しない))

# STEP5 テストメール

## 5-1

設定画面左側にあるメニューの「Eメールテスト送信」をクリックします。

TOP  
Eメールサーバー設定  
**Eメールテスト送信**  
入力0設定  
入力1設定  
出力設定  
詳細設定  
サーバー機能設定  
れんら君モニタ  
設定反映

### Eメールテスト送信

Eメールサーバー設定 (SMTP) が正しく行われているかの確認のため、メールをテスト送信します

To: 宛先 (256文字まで)  
Cc: 同報 (256文字まで)  
Bcc: アドレス秘密同報 (256文字まで)

件名: N K E れんら君TEST MAIL送信 (固定)  
本文: メール本文 (全角84文字まで)

テストメール送信  
send

## 5-2

【TO】の項目に確認用テストメールアドレスを入力し、画面下側にある「send」ボタンをクリックします。

「送信完了」と表示されると、Eメールサーバー (SMTP) に記載した情報に誤りがないことが確認できます。

テスト用のメールアドレスは、1.2件程度にとどめてください。

設定したメール情報が謝っていた場合、エラーが出ますので、エラーが出た箇所に間違いがないか見直してください。

TOP  
Eメールサーバー設定  
Eメールテスト送信  
入力0設定  
入力1設定  
出力設定  
詳細設定  
サーバー機能設定  
れんら君モニタ  
設定反映

### Eメールテスト送信

**テストメール送信正常終了**

Eメールサーバー設定 (SMTP) が正しく行われているかの確認のため、メールをテスト送信します

To: 宛先 (256文字まで)  
Cc: 同報 (256文字まで)  
Bcc: アドレス秘密同報 (256文字まで)

件名: N K E れんら君TEST MAIL送信 (固定)  
本文: メール本文 (全角84文字まで)

テストメール送信  
send



# STEP6 入力設定

## 6-1

設定画面左側にあるメニュー内の「入力0設定」をクリックします。

## 6-2

### 【データ収集時間間隔】

データを収集する時間の間隔を秒単位で設定します。

0…0.1秒間隔でデータ収集

-1…データ収集を行わない

1～65500…入力した秒数の間隔でデータ収集が行われる

### 【入力平均化処理設定】

取得したデータを平均化処理します。

3種類あるため、いずれかを選択してください。

※3種類の内容の詳細はソフトウェア取扱説明書をご確認ください。

### 【異常値除外】

設定した値から外れた計測値は収集データから除外されます。

✓を外す、もしくは0に設定すると除外処理は行われません。

## 6-3

### 【アナログ入力レベルの調整】

補正を掛ける値を -4095～4095 のデータ値で設定します。

ここで補正かけるとオフセット・ゲインすべてに影響がありますのでご注意ください。

✓を外すとアナログ入力レベルの調整は行われません。

※詳細はソフトウェア取扱説明書をご確認ください。

### 【アナログ入力値のスケール変換を行う】

入力と出力の範囲が合わなくても、スケール変換を行うことによって合わせることができます。

最小値・最大値・単位名を設定することで、自動で測定データをスケール変換します。

✓を外すとスケール変換は行われません。

# STEP6 入力設定

## 6-4

例) 1V出力で-100°C、5V出力で100°Cの温度センサを用いたときの設定

測定単位は半角文字指定のため、°Cが使用できません。  
右図上は°C「度：degree」を用いて「deg」と入力しています。

例) 湿度→%  
圧力→Pa

右図下が1-5V出力、-100~100°Cのセンサを用いたときのスケール変換図です。

0V出力のとき-150°Cという仮の値を設定することになります。

アナログ入力値のスケール変換を行う

アナログ入力値の単位を電圧(電流)からセンサの測定単位に変換する設定を行います

アナログ入力「0V」に対する変換値:  (-32767 ~ 32768)

アナログ入力「5V」に対する変換値:  (-32767 ~ 32768)

センサ測定値の単位名:  (半角10文字まで)

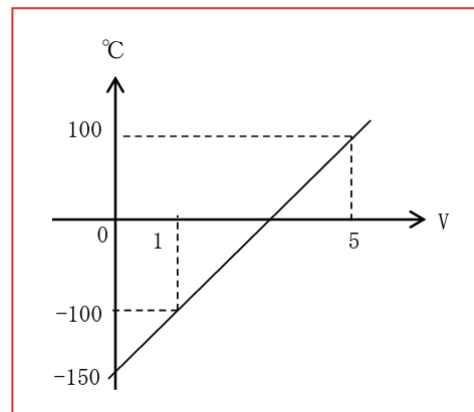
データ値「1」辺りのスケール変換値: **0.06104deg**

スケール変換計算ツール

センサの測定値範囲:  ~

センサの電圧出力範囲:  ~  [V]

※センサのデータシートを見て入力してください



## 6-5

### 【定期メール動作条件設定】

アナログデータを CSV 形式にして  
メールを送るときの送信時間間隔を設定します。  
0 ~ 65535(秒) で設定してください。  
これを行うことによりロギングデータとして  
収集することができます。

※0にすると定期的なメール送信は行いません。

定期メール動作条件設定

何秒ごとにアナログデータ添付メールを送信するかを設定します  
添付できるデータ上限数が255個までとなることに注意してください

メール送信時間間隔:  (0~65535[秒])

## 6-6

### 【監視メール動作条件設定】

監視メール送信を有効にする

- ・ 上限値超えのみ・・・設定した上限値を超えたときにメールを送信するようにします。
- ・ 下限値超えのみ・・・設定した下限値を超えたときにメールを送信するようにします。
- ・ 上・下値超え両方・・・設定した上限値以上または下限値以下になったときにメールを送信します。

監視メール動作条件設定

監視メール送信を有効にする

どのような条件で監視メールを送信するかを設定します

1.  上限値超えのみ  
測定データが上限値以上になると監視メールを送信します
2.  下限値超えのみ  
測定データが下限値以下になると監視メールを送信します
3.  上・下限値超え両方  
測定データが上限値以上または下限値以下になると監視メールを送信します

## STEP6 入力設定

### 6-7

上限値設定・・・異常とみなす上限値を設定します。

下限値設定・・・異常とみなす下限値を設定します。

通知抑制時間設定・・・監視メールを1度送信した後、再度異常値を計測しても設定された時間内はメールを送信しません。

上限値設定:	<input type="text" value="0 (0.0000 V)"/>	(0~4095)
(スケール変換値で設定:	<input type="text" value="0"/>	[V])
測定データが、	<input type="text" value="1"/>	回連続で上限値設定以上になると監視メールを送信します(1~127[回])

下限値設定:	<input type="text" value="0 (0.0000 V)"/>	(0~4095)
(スケール変換値で設定:	<input type="text" value="0"/>	[V])
測定データが、	<input type="text" value="1"/>	回連続で下限値設定以下になると監視メールを送信します(1~127[回])

通知抑制時間設定:	<input type="text" value="0"/>	(0~65535[秒])
監視メール送信後、設定時間内は再び条件が成立しても監視メールを送信しません		

### 6-8

#### 【メールの作成】

続いてメールの作成にうつります。

定期メール・・・定期的に送る、アナログデータ添付メールの宛先・本文の設定を行います。

監視メール・・・異常が起こった(上限値や下限値を超えた時)ときに送信するメールの宛先・本文の設定を行います。

[定期メールの作成](#)

[監視メールの作成](#)

※メールを作成していないと、条件が成立してもメール送信は行いません

# STEP7 設定（メール）

## 7-1

### 【To】、【Cc】、【Bcc】

宛先をそれぞれ入力してください。  
各項目半角 256 文字以内でしたら  
カンマ「,」で区切ると複数人に送ることも可能です。

### 【件名】、【本文】

タイトルとメール内容を入力してください。

入力0 定期メール設定

Channel(00) : 定期 (生データ)

指定の通知メールは登録されていません

To: 宛先 (256文字まで)

Cc: 同報 (256文字まで)

Bcc: アドレス秘密同報 (256文字まで)

件名: 表題 (全角84文字まで)

本文: メール本文 (全角84文字まで)

## 7-2

### 【メール登録一覧表】

現在、宛先や件名が登録されている  
メールがある・ないを表示します。

登録されている場合→○

登録されていない場合→×

メールを登録しなければそのメールは送信されません。

メールの登録 set

メールの削除 delete

メール登録一覧表

送信条件	定期メール	監視メール		
	定期	上限	下限	上・下限
入力0	×	×	×	×
入力1	×	×	×	×

登録済みメールの全削除

メールの全削除 delete all

## 7-3

「入力1」に関しても、  
同様に設定してください。

## STEP8 出力設定

### 8-1

※出力がついているのはUNC-RP42(A)のみ  
UNC-RP41(A)を設定中の方はこちらの設定は  
飛ばしてください。

入力の設定が終わったら出力の設定をします。

【OUT 端子を出力接点として使用する】  
出力端子を使って出力を出したい場合は  
✓を入れてください。

【連動入力設定】  
どの入力が入ったときに出力を出すのかを  
設定します。  
出力は1点分ですが、入力0,1の2点に  
同じ出力を出す設定は可能です。

【接点出力時間設定】  
出力する時間を設定します。  
例) 出力時に警報を鳴らす。  
→「監視動作条件成立後、10 秒間出力する」設定にすると  
警報を 10 秒鳴らす。

【出力極性選択】  
出力を A 接点 (NO)、B 接点 (NC) の  
どちらにするかを設定してください。

## STEP9 設定反映

### 9-1

すべての項目の入力が完了したら、  
設定画面左側にあるメニュー内の  
「設定反映」をクリックします。

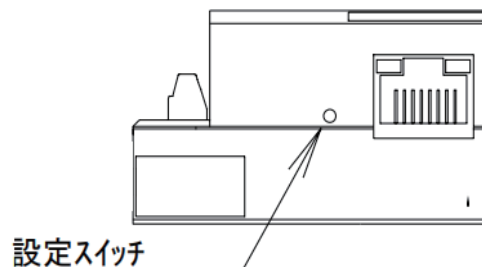
「設定反映」の画面が開きますので  
「Reboot」ボタンをクリックし、れんら君を  
再起動してください。  
再起動が完了すると、設定は完了です。

(注) 再起動しないとれんら君に設定した内容が  
書き込まれないため、設定変更をした後も  
必ず再起動をしてください。

# 補足 初期化（工場出荷時状態）

## 10-1

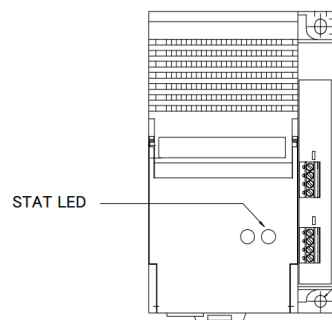
全ての設定情報をリセットし、工場出荷時の状態に戻します。  
電源を切った状態でれんら君の設定スイッチ（右図）に  
ピン状のものを差し込み、そのまま長押しします。



## 10-2

設定スイッチが押された状態で電源を入れ、  
れんら君の「STAT LED」が緑色で点滅するまで  
スイッチが押された状態を保ちます。

れんら君の「STAT LED」が緑色で点滅することを確認後、  
スイッチから手を放します。



## 10-3

再度ピン状のものを設定スイッチに差し込み、スイッチを長押しします。  
緑色で点滅していた「PWR LED」が赤色になればスイッチから手を放します。  
「PWR LED」が、赤→消灯→緑点灯と変化し、  
最後に緑点灯の状態になると初期化は完了です。

# NKE株式会社 [旧社名(株)中村機器エンジニアリング]

商品に関するご質問は、フリーダイヤル、もしくはEメールにてお問い合わせください。  
(AM.9:00~PM.5:00 土日、祝祭日を除く)

☎ **0120-77-2018**  
✉ [promotion@nke.co.jp](mailto:promotion@nke.co.jp)

- 本社工場 〒612-8487 京都市伏見区羽東師菱川町366-1 TEL 075-924-0653(代) FAX 075-924-4653
- NKEホームページ : <https://www.nke.co.jp/>
- お断りなくこの資料の記載内容を変更することがありますのでご了承ください。